



令和7年度冬期環境家計簿モニター モニターさんの声

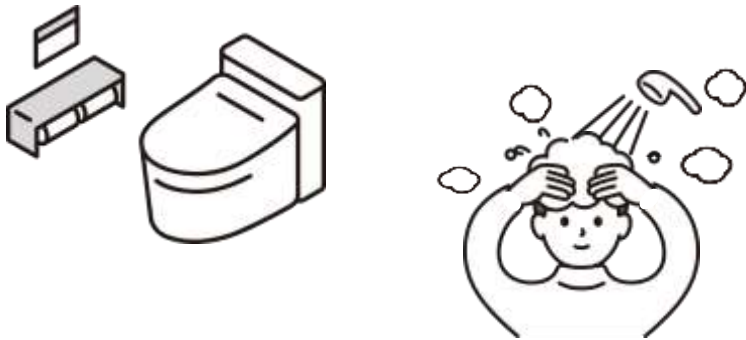
皆さんからいただいた省エネへの取組方法や感想などをご紹介いたします。今後の参考として、
ご一読ください。 ※一部文意を変えずに修文しています。

《MF》

今年の電気代が高い明確な理由は不明だが、トイレの便座、温水の温度設定が高めだったのかもしれない。

便座などは地味だが昼夜とも動作しているので案外電気使用料に影響がありそう。

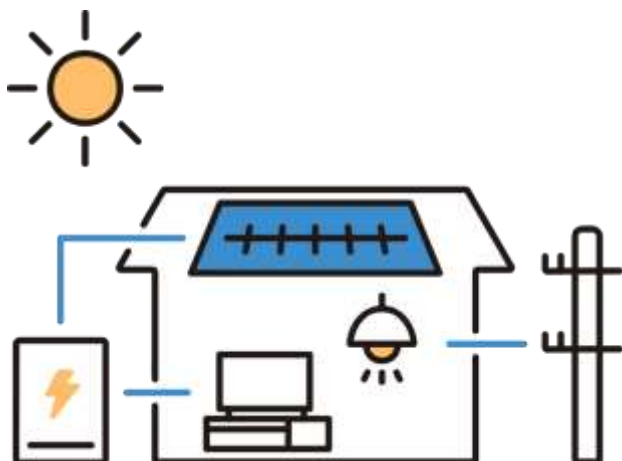
ガス代が安いのはフィットネスクラブの風呂を利用していたため自宅の風呂の使用頻度が下がった影響だと思う。



《CT》

ガス代が上がった。子供が仕事から帰ってくるのが遅くてシャワーで済ませるため浴室暖房を使うようになったからかも。

世帯人数が減ったのに電気代が増えたり、ガス代を気にせず暖房を使っているのに去年より減っていたり、全く意味がわからない。



《おっちゃん》

政府の電気・ガス料金負担軽減支援は、2026年1月使用分から再開で3月迄の予定だが、反映は2月検針分からで、まだまだ先のことだ。昨年同月を金額ベースで比べれば、電気 84%、ガス 41%確かに減っているが、本年 10 月に 15 年以上使っていたエアコンを入れ替えた。電気屋は 10 年以上の入替で冷房より暖房の方が電気代が安くなると言っていたが、こんなものかと思ひやる。

昨年同月を金額ベースで比べれば電気 59%、ガス 52%となった。寒いことは寒くなってきたが、国分寺は全国他の地方と比べれば寒さは厳しくない。電気・ガスともに金額ベースで半分近くとなった。エアコンやガス床暖は殆どつけっぱなしだ。もう一つ付け加えたいのは昨年 3月末非常に小さな屋根に 2.18KW の太陽光パネルを設置したが、これが役立っているか未だに分からない。

2月8日、国分寺に今季初めて雪が少し積もった。電気・ガス料金負担軽減支援は1月使用量からで、よって2月検針分から3か月反映される予定だ。昨年同月金額ベースで電気60%(12月から2月迄の合計では64%)、ガス48%(12月から2月迄の合計では48%)であった。過去一年半程のデータを持っているが、電気もガスも前年の50%から60%台である。これに負担金軽減支援策3か月が夏冬2回程あったりして統計を取るのに邪魔になる。別途、使用量ベースの12月から2月迄の合計では電気62%、ガス47%で金額ベースと変わらなかった。

《かすてら》
内窓を設置した。



家庭の省エネのヒントが
たくさん掲載！

「家庭の省エネハンド
ブック2026」
(東京都)



ぜひご参考になしてください。

《素浪人》

◆昨年中ごろから今期の冬（令和 7 年～令和 8 年冬季間）暖冬の予測がされていた、しかし途中から非常に寒くなるとの予報に変わり、この予報が当たり日本海地方の大雪、太平洋岸の極寒と言えるくらい寒さに見舞われ、またインフルエンザの流行拡大、物価の上昇、選挙あり、2月には冬季オリンピックと、前年同期から大きく逸脱する環境になると予測していたが、期間中の実績は前年同期を大幅にオーバーすることなく、我が家としての対策はこれが限度ではと考えている。（電気+ガス一括でのコメント）

◆令和8年2月度・・・料金負担支援額●電気・（4.5円/KWh・・・1,475円●ガス（18円/㎥・・・720円含まれている）従って2月の料金は実質前年比4％程度増えている。

◆東京ガスのデータから判断すれば、R8年1月東京ガス管内の平均使用量がほぼ同一であることが分かった。



12月～2月の平均気温

